

## 事業所職員向け

## 令和5年度 LigLig 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用児童の人数が多い日、活動内容によっては、手狭に感じることもあります。</li> <li>・利用者が多い場合、おもちゃのある所に児童も職員も集まりがちなので遊べるものを持って広い場所に移動して遊べるようにしている</li> <li>・利用人数が15人に近くなると、各部屋にまんべんなく分散すればさほど感じませんが、りぐりぐタイムでホールに集まる際には狭く感じます。</li> <li>・リグリグタイムでの活動の際にホールに利用人数が15人程になると狭く感じる場合があります。</li> <li>・ご利用人数や活動内容によってですが狭く感じる時もあります。</li> <li>・ご利用人数が多い際にグループでの活動を実施すると活動スペースが狭く感じる場合があります。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置人数が多く、一つの活動でも、個々に支援に付けたり、グループに分かれての活動になっても細かく配置出来ています。</li> <li>・余裕を持った職員配置なので、全体活動でも隣について支援が必要なお子様には職員が個別にサポートに付くことができています。</li> <li>・各部屋にいる子どもたちに職員の目が行き届くよう配慮している</li> <li>・職員の人数も増えたため、利用者がどこで何をしているのか目が届きやすいです。</li> <li>・それぞれの場所に職員を配置することができ、お子様たちを見守り、支援することができています。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部階段があったり、玄関が少し狭い等ありますが、トイレなど含めバリアフリーに対応している部分もあります。</li> <li>・学びの部屋に続く階段に鉄の部分があって躓いた場合少し危ないように思う</li> <li>・階段やトイレ内の手すりがないこと、玄関から駐車場に向かうまでの少しの段差が危険に感じる場合があります。</li> <li>・玄関が少し狭いと感じたことがあります。</li> <li>・トイレなどバリアフリーに対応しています。階段部分は手すりがない為、歩行が困難なお子様は職員が支えて対応しています。</li> </ul>
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体での話し合いが中々できていませんが書類を基に職員同士、共有しています。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の勤務期間では今回のアンケートが初めてであるため、今後活かしていきたいと考えています。</li> <li>・書いていただいた内容を職員間で共有し改善を図っています。</li> <li>・保護者様の意向を把握していきながら、日々の活動などに反映しています。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開していると聞いていますが、まだ確認しておらず、どこで公開しているのかが分かりません。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っているかと思われませんが、まだ確認していないため分かりません。</li> </ul>

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で活動計画案や、支援内容を話し合う機会が多く、外部からの講師を招いて研修も行っています。</li> <li>・年数回、外部講師を招いて職員研修を行っています。</li> <li>・定期的に児童に関すること、療育に関する内容の研修を行っている</li> <li>・確保しています。</li> <li>・性教育、ABAなどの研修に参加し、実際の業務に取り入れることができています。</li> </ul>
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成の時期には面談も行い、ニーズの把握に努めています。</li> <li>・職員同士で話しあい共有をしています。</li> <li>・面談・モニタリングなどから計画を作成しています。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		7		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動内容を担当職員だけではなく、全職員でも検討し合っています。</li> <li>・毎月の職員会議で行っています。</li> <li>・日々の計画を職員会議の中で話し合い、児童に必要な療育を取り入れている</li> <li>・職員会議で活動内容を話し合い、決めています。</li> <li>・職員会議をしながら活動を決めています。</li> <li>・職員会議を月に2回ほど開き、職員同士で意見を出し合い話し合っています。</li> <li>・毎月の職員会議で話し合い、お子様が楽しく活動できる内容を職員全体で考えています。</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月継続して行う内容とそうでないもの、静の活動、動の活動などマンネリ化しないような内容を考慮しています。</li> <li>・毎月様々な活動を考え、取り入れている</li> <li>・活動の最終目標はどこになるのかを計画しながら進めています。</li> <li>・新たな活動や内容を変更しながら同じような活動にならないようにしています。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日や長期休暇など時間がある時にしかできないことを目的を持って決め、計画を立て、活動を行っている。</li> <li>・来年度からは、平日・休日ともに対象学年等を考慮して、より細やかに支援できるようにしていきます。</li> <li>・小学生・中学生・高校生で発達段階やその子の特性に応じて活動の内容を決めています。</li> <li>・視覚支援や目標などを決め、子どもたちにわかりやすく支援しています。</li> <li>・土曜日の活動内容が定まらない時もあるので職員で話し合い計画立てて行きたい。</li> </ul>

支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ学年や能力がことなるため個別での活動が多めとなっている</li> <li>・お子様一人ひとりちがうので計画を作るうえで振り分けなど工夫しています。</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日行われるミーティングの中で、活動内容、ねらい、支援については担当職員を確認して、取り組んでいます。</li> <li>・毎日朝礼を行い、その日の主となる活動についての流れや職員配置を確認している</li> <li>・毎日ミーティングをし活動の役割を確認しています。</li> <li>・毎日ミーティングの時間をとり昨日の出来事など振り返りながら共有しています。</li> <li>・毎日ミーティングを行い、その日の支援内容、役割分担などを確認しています。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に職員が話し合える時間が確保されているため、細かく情報は共有しています。</li> <li>・活動の翌日の朝礼で話したり、活動の指導案に反省や評価を職員間で回し、振り返りを行っている</li> <li>・計画案に反省を記入していますが、今後は毎日のミーティングで前日の支援内容について、より細かく振り返りたいと思っています。</li> <li>・小さいことでも振り返りとして大切なので話し合っています。</li> <li>・全体での振り返りは、次の日になってしまうがそれぞれ意見を出し合っており振り返りを行っています。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務日報や日々の経過記録にその日の児童に関することを残しており、改善の余地があるのであれば話し合いを行っている。</li> <li>・その日のお子さんの出来事を記録として残しています。</li> <li>・お子様一人ひとりの経過記録を記入して、日々の支援に繋げています。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体でお子様について振り返りのモニタリングを行い、計画に沿った支援を行えるようにしています。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	3		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議には児発管が参加している</li> <li>・児発管が参加しています。</li> </ul>
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月学校へお迎え時間を提出しています。送迎時には全職員が携帯電話を持参しているため、緊急対応も出来ていますし、緊急時のマニュアルもあります。</li> <li>・その日の児童の様子について送迎時に申し送りがないかを確認している</li> <li>・必要なことは連携しています。</li> <li>・送迎時に学校との情報共有と手紙での連絡を行い、適切に行うことができます。</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合) 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6		・該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の児童発達支援部門から移行するお子さんについては、その部門との連携をしています。その他保育園等については実施していません。</li> <li>・未就学児の見学を受け入れたり次年度実際に通う予定の児童にならしで放デイに入ってもらっている</li> <li>・LigLigの児童発達支援とは情報共有を行っていますが、それ以外とはまだ行っていません。</li> <li>・どんな児童がくるのか児童発達支援の先生と話し合っています。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> <li>・今年度に初めての卒業者がいるため、今までではまだ行っていません。</li> <li>・卒業するお子様の支援をまだしていない為、今後移行する場合は、情報共有して対応していきたい。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの機関が主催する研修会に参加。</li> <li>・施設での児童の様子を定期的に訪問しに来てもらっている</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の放デイや児童館などにいる児童との接触がほとんどないため交流する機会があってもいいのではと思う</li> <li>・白根児童館に行ったことがあります。</li> </ul>
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当の職員が参加しています。</li> <li>・私自身は参加していませんが、担当職員が参加していると思います。</li> <li>・担当職員が参加しています。</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に口頭でお伝えしたり、SNS (公式LINE、Hug) を活用し写真も含め、様子が伝わるようにしています。</li> <li>・LINE、通信を通して、お子様の様子についてはお伝えしています。</li> <li>・児童の送迎時やLINEで日々の出来事や様子を伝えるようにしている</li> <li>・送迎時に保護者様に出来事などお話ししています。</li> <li>・送迎時、LINEなど保護者の方と日々のお子様の様子を共有しています。</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を開催しています。</li> </ul>

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・HUGを通じて保護者の方がわかりやすいように記載しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	1	・職員が男女、幅広い年齢層で配置されているのと、専門の方にも助言を頂きながら対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		・今年度、初めて保護者会を開催しました。 ・まだ回数は少ないですが、保護者会やお勉強会を開催しています。 ・保護者会を開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・お出かけやクッキングなど必要なものを用意していただくため早めに連絡を入れています。 ・LigLig通信を毎月発行して、行事予定などを保護者の方にお伝えしています。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・口頭では正確に伝えきれないご家庭にはLINEを活用して伝える、文面ではなく電話や直接面と向かって伝えるなど、伝え方を配慮しています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	・地域との交流が乏しいのでそういった機会があればいいと思う
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	1		6	・毎月行われる避難訓練と職員が行う職員の為の避難訓練があり、書面確認だけでなく、実際行って訓練しています。 ・保護者には具体的に周知できていない可能性があります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・毎月様々な災害を想定し、実際に避難場所へ逃げる避難訓練もやっている。 ・月に1回避難訓練を実施しています。 ・毎月避難訓練を行い、災害に備えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4		・定期的に外部講師に研修会を懇願し、虐待防止に努めている。 ・今後、定期的に研修を行いたいです。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	3	・現状暴れたり、他児に危害を加える児童がいないため話し合いができておらず、研修で少しだけそういった事例が出てくる程度に留まっているのでもう少し深掘りしてもいいように思える ・該当なし ・行っているのかが分かりません。 ・現在身体拘束が必要な児童は利用していません

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	・該当なし
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2		・ヒヤリとしたことを、自分の反省だけではなく、職員で共有することで、再び繰り返すことが無いようにしています。